



〒111-8765 東京都台東区西浅草 3-17-1 浅草ビューホテル 2階
TEL. 03-3847-1111 FAX. 03-3847-0154 URL: http://www.asachu-rc.jp

2013 - 2014 年度テーマ

R.I. テーマ 「ロータリーを实践し みんなに豊かな人生を」
R.I. 会長 ロン D・バートン
地区ガバナー 吉 田 建 二
クラブテーマ 「参加し行動しよう」
クラブ会長 藤 掛 靖 元



本日の卓話

「1年を振り返って」

藤掛会長、伊石幹事

2014年6月25日

第1366回例会

会長 藤掛靖元
幹事 伊石佳高

今後の卓話予定

7/2 新会長・新幹事挨拶
7/9 ガバナー公式訪問・クラブ協議会
7/16 本年度事業計画発表
7/23 「未 定」 宮村 忠 様
7/30 「メンタルトレーニング」 セルフイメージコンサルタント 岡崎哲也 様



7月お誕生日祝 15日(46才) 馬場洋介君 22日(50才) 潮田幸一君

前回(6/18 1365回例会)の記録

来訪者紹介

◆ゲスト 0名
◆ビジター 2名 東京浅草RC 西春貞男 様・東京江北RC 高杉浩明 様

出席報告

総会員数	休会	出席免除	出席	欠席	出席率	修正出席率
47名	3名	4名	35名	7名	83.33%	1363回例会修正 欠席0名・出席率100%

東日本大震災で被災された皆様に一日も早い平和と復興がおとずれますようにお祈り申し上げます。このような時こそ、我々ロータリアンは『五大奉仕』を実行・実践しましょう。明日の日本と世界はみんなの手の中に！

会長報告<藤掛会長>

・先週の会長幹事慰労会、ありがとうございました。大いに楽しみました。企画をしていただいた親睦活動委員会の皆様、ありがとうございました。会長報告も残すところ今日を含め2回となりました。前回までの例会数は45回ですが、地区大会やIMなどを除き通常の例会での会長報告は39回ありました。その内容を見ます

と、クラブ協議会について、復興市のご案内、炉辺について等クラブ内行事に関連した内容が一番多く15回、ついで気仙沼仕事創出プロジェクト等ローターアクト関連についてが7回、地区の行事への参加報告等7回、中国への出張での感想、祭礼について等身の周りの話題等位7回、被災地関連が3回となっております。地区などの行事に参加したらその内容が面白くとも面白く

なくともクラブにフィードバックをいたします。クラブ内での行事、地区の行事はある程度年間の予定がわかりますので、来週はクラブでこの行事があるので、来月のこの週は地区での行事があるのでこの事について話そう、とある程度計画を立て話を組み立てて参りました。この会長報告はクラブによって様々です。幹事が司会を務める

クラブなどでは会長が幹事報告をしております。また会長報告の無いクラブもあります。我がクラブは例会の進行、運営が和やかな中にも緊張感がありしっかりしていると思います。新しい取り組みや改善は必要ですが、この良き伝統はクラブの風土として守って行くことが大切だと感じます。

幹事報告<伊石幹事>

- ・本日は各委員会、下半期事業報告です。各委員長、発表よろしくお願ひ致します。

ニコニコボックス

<藤掛、伊石>

- ・各委員会委員長様方、下半期事業報告よろしくお願ひ致します。

<藤掛、伊石>

- ・会長、幹事慰労会ありがとうございました。大いに楽しみました。親睦活動委員会の皆様、ありがとうございました。

<古谷、太田、大塚、藤田、永井、松崎、柘、宮村、原田>

- ・クラブ協議会下半期事業報告、各委員長よろしくお願ひ致します。

<上原、大塚、中村、伊石、潮田、宮崎、内田、浜中>

- ・ゴルフ同好会コンペ、上原さん、優勝おめでとうございます。2次会の残金をニコニコ致します。

<山尾、長島、後上>

- ・巨人、交流戦優勝目前。リーグ戦も首位。このまま突っ走れ。

<天笠>

- ・土日で会社でファミリーセールをしました。大盛況でした。植木夫人、中村夫人に来ていただきました。11日に再度いたします。その折は皆様にご案内させていただきます。

<高木>

- ・結婚24年を迎えました。「花には水を妻には愛を」の精神で、来年25周年にはハワイ旅行をプレゼントします。

<河村>

- ・先日の会長幹事慰労会お疲れ様でした。2次会に都鳥をご使用下さり感謝の気持ちで一杯です。ありがとうございました。

「クラブ協議会・今年度事業報告」



藤掛会長



中村職業奉仕委員長



上野社会奉仕委員長



尾泉クラブ奉仕委員長



小林博国際奉仕委員長

読書感想シリーズ 8

「幕末 戦慄の絆」

(和宮と有栖川宮熾仁、そして出口王仁三郎)

加治将一 祥伝社 平成 26 年 4 月 30 日初版

原田 毅

加治将一と言えば、封印された日本史の真実を暴く「禁断の歴史シリーズ」で有名であるが、今回の小説では、引退を表明していた歴史作家・望月真司として登場している。幕末維新の動乱期、孝明天皇の異母妹である和宮は、徳川家茂に降嫁し、公武合体の象徴となった。その「和宮の謎」が望月の元に持ち込まれるのであるが、この展開が面白い。幼くして和宮と婚約していた有栖川宮熾仁（たるひと）、そしてその有栖川宮熾仁から『仁』の一字をいただいた出口王仁三郎は彼のご落胤らしい。やがて、謎に包まれた和宮の生涯と、和宮に関わる人物たちの発言、行動から、明治維新最大のタブー“天皇すり替え”の核心が浮かび上がってくる。話は飛ぶが、日本に最古のフリーメーソン・ロッジが作られたのは1865年の横浜の「スフィンクス・ロッジ NO.263」と言うことだ。そのころ丁度英国公使パークスが赴任し、幕末が急速にアップテンポになった年である。このあたりを一部本文から抜粋する。

フリーメーソン・ロッジが堂々と出来たからアップテンポになった気がするが、英国の武器が脚光を浴び始める。政商トーマス・グラバーが腕まくりをし、最新式のアームストロング砲 35 門を英国に発注、長州の伊藤博文が、坂本龍馬の亀山社中と薩摩藩の斡旋で、グラバーから銃を大量に購入する。この年、商談は目白押しだ。

薩摩、長州、土佐の開明派が英国と絆を太くする中、同じ年（11月22日）、孝明天皇は神戸開港を拒否。この条約違反に神戸の外国勢力が激怒する。当然、自由主義を掲げるフリーメーソンが黙っているわけは無い。年が明けると、大胆にも薩長が連合した。と同時に英国領事の若き諜報部員アーネスト・サトウが「議会制に移行し、開港しなければ英国は武力で幕府を倒す。期限を1868年1月1日とする」という武力革命宣言（『英国策論』）を「ジャパン・タイムス」に発表、和訳本を各藩にくまなく送付する。

これは維新宣言だ。英国と薩長の息はぴったりだ。

同年8月29日、徳川家茂が大坂城で急死。暗殺の噂渦巻く中、江戸への遺体搬送は、これまで堅く封印されていたのだが、望月は勝海舟斡旋による英国軍船であった、ということ突き止めている。続いて半年後、孝明天皇死去。アーネスト・サトウは、自分の日記で病気がないことを暗示。サトウの維新宣言通り、将軍が天皇に政権を譲渡し、神戸が開港した。これで万事良かったはずだが、しかし岩倉、大久保たちは薩長を纏め上げて1月27日、無理やり鳥羽・伏見で戦いを仕掛けたのである。

何故か？必要だったからだ。

そう、朝廷を戦乱で取り巻き、どさくさにまぎれて天皇をすり替える舞台作りだ。ニセ天皇にふさわしい、ニセ錦の御旗は長州の品川弥二郎らが作ったものだが、孝明天皇所有の本物は別の人間が隠し持っている。この人物の名は、後に意外なところで現れる。

……もっともっと紹介したい所ですが、幕末の秘話の詳細は、この本と同じく加治氏の「幕末維新の暗号」を一読下さい。